

①はじめに

みなさま、滞在中を通してお祈りしてくださり、ありがとうございました。津田塾大学学芸学部多文化・国際協力学科在学生の窪千穂と申します。私の認識ミスにより遅くなってしまいましたが、私のプリ滞在のレポートを作成致しましたので、プリキンダーガルテンスクールの子どもたちの様子を含め、現地の様子も合わせてお伝えできればと思っております。

②滞在の目的

今回私がインドを訪れた目的は、後に行かなければならないフィールドワークに向けての現地の下見でした。私が在籍している学科では、全員が自分の興味のある社会問題について各々リサーチクエストを設定し、その疑問を解決するべく実際に現地に赴き調査をする「フィールドワーク」が義務付けられています。私が今主に学んでいるのは、「国際ウェルネス」という保健や健康に関係することです。その中でも私は、水質汚染と健康の繋がりに興味を持っており、調査をしたいと考えています。インドをフィールドワーク先として選んだ理由は、勝手な先入観によりインドは川をはじめとして水が濁っていると考えていたからです。現地の状況を全く知らないままフィールドワークを行うわけにはいかないと考え、松本素代美さんに連絡を取ったことで今回の滞在が実現致しました。

③滞在中のレポート

今回、2023年3月3日～17日の2週間プリを訪れ、モハンティ先生の家に滞在させていただきながら、キンダーガルテンスクールをはじめとして、病院や障害者支援施設、学校、現地のスラムなど、あらゆる場所に連れて行っていただき、様々な学びを行いました。滞在中はほとんど毎日、朝子供達が全員登校した時間にスズさんと共にスクールに行き、子ども達と触れ合いました。授業風景を覗かせていただいたり、外でとにかくパワフルなみんなと共に遊びました。初めて会った時から先生も子ども達もフレンドリーに私に接してくださり、緊張して固まっていた私にとって本当にありがたい環境でした。挨拶してすぐにみんなが握手のために周りに群がってきてくれたときには嬉しい気持ちが抑えきれなかったようで、後で写真を見た時に心からの笑顔を浮かべていました。初めての環境でしたが、最も早く馴染めたように思います。初日は子ども達と共に外でアクティビティをしました。みんな元気に楽しそうに遊んでいて、一緒に遊びながらさらに距離を縮めることができました。外で遊んだ後は室内で子供たちがダンスを披露してくれました。たくさん練習したと先生たちが言うてくださった通り、みんなとても上手に各々音楽に乗って楽しそうに踊ってくれました。私も少し入らせて貰うとみんな私の手を引っ張って中に入れてくれて、一緒に踊ってくれました。次の日からは授業風景をそれぞれのクラスに行ってみ学させて貰いました。小さな子たちのクラスと大きな子たちのクラスで授業内容が大きく違い、さらにテキストもあったため、行く前に想像していた何倍も学校らしいという印象を受けました。キンダーガルテンスクールと言うからにはもっと遊び重視で、勉強と言っても楽器を触ったり、アルファベットやヒンディー語のスペルを確認する程度だと考えていましたが、先生たちの指導も本格的であり、現代っぽく映像を使う授業もあったことに驚きました。リズムに乗りながら楽しくアルファベットと単語を覚えられる映像教材は、現代ならではのものであり、非常に画期的であると考えています。遊びの時間もあり、人形・鍵盤ハーモニカ・トミカなどで遊んでいるところに私も少しお邪魔させてもらいました。特に物の取り合いになることもなく、みんな仲良くはしゃいでいて、微笑ましい光景でした。子ども達が遊ぶとなると、物の取り合いは常套句だと思っていましたが、そうなりそうな時は先生が上手に収めていました。私が見ていた限りでは喧嘩らしい喧嘩はないように見えました。植物の植え付けを行った日もありました。花や草を植えて、みんなで写真を撮りました。花を挿して水をあげるだけではありませんでしたが、何人かの子ども達の作業をお手伝いしました。小さな頃から植物に触れる機会が減った昨今、このような機会はとても大切だと思います。みんなが花や植物に触れることで良い影響を受けることができればと思っています。昼はモハンティ先生と二人で聖書のお話と学びを毎日行いました。また、夕方には毎日モハンティ先生たちと聖書を読み、お祈りを捧げました。キリスト教系の中学・高校に通っていたため、私も何度かお祈りの担当をしました。高校以来聖書に触れていなかったため、新鮮な学びであったように思います。

以上